

今年は新型コロナウイルスの感染拡大によって、1月以降、いわきへら研の月例会も参加者が少なく、中止が続いていましたが、緊急事態宣言が解除となり、ようやく参加者が増えて開幕を迎えることができました。

4月は野釣りの栗原での開催です。このところ、週末は時化続きで船釣りが出来ないこともあって、2週間前の4月3日に試釣に行ってきました。いわきへら研の面々も試釣に来ていましたが、朝の冷え込みのせいか？結構、厳しい状況。それでも、11尺の棚1本で、ナジミ切りの早打ちをすると、へらが寄ってポツポツ釣れることがわかりました。当日は、これでやりきるしかない。

【月例会】

現地にて4時半ごろ到着すると、参加者は、14名と近年では滅多にない大勢の参加です。皆さん、そろそろ我慢の限界なのではないでしょうか？いつもこのくらいの参加があると盛り上がるのですが・・・

今回は初戦なので、入釣はクジ引きです。私は、何時ものようにクジに見放され9番目の入釣。ほとんどが畑前のポイントに入り（1名小沼に・・・）、人の流れに任せて歩いていくと、試釣をやった杭の2本ほど先に入ることに。隣はYさんと新人のH君。これなら寄せ負けはあまいかも？

開始早々、手前寄りの面々が一枚、二枚と釣れ始めるも、こちらは沈黙が続きます。しばらくして、隣のH君が2枚先行。H君は13尺とやや長めの竿。こちらは11尺と試釣で良かったタックルでしたが、満員状態だと短竿では厳しいと判断。13尺に切り替えると、驚くほど浮子の動きが違います。それまでジャミも反応しなかったけど、13尺に替えたら浮子が動けばなし。そして、程なく1枚目をゲット。やはり長竿が正解のよう。ただ、この時点で、手前よりに入った会長やMちゃんは7、8枚釣っているようで、さらに小沼に入ったNさんもかなり釣っているとの噂。時間の経過とともに、へらが回ってくるようになり、ポツリ・・・ポツリ。隣のH君には負けられないところですが、H君も同じような感じ。最後は何とか風にも助けられ、振り込み慣れていないH君を振り切り、11尺で4.5kg。型も良かったこともあり4位入賞ができました。優勝は会長で6.0kg、2位はMちゃんの4.8kg、3位は小沼に入ったNさん4.6kgでした。小沼は枚数は出たけど小さかったようです。

何とか、今年は無難なスタートを切ることが出来ました。しばらくは野釣りなので、感染のリスクも小さいので、大勢の参加を期待したいところです。



栗原はこちら [地図へ](#)  
 例会成績はこちら  
[いわきへら研の公式HP](#)

基本データ
栗原
4月11日 5:00~14:00
畑前中央
竿 13尺 水深1.2m 1mの宙
バラケ マッハ2:セット専用2:水1
食わせ 一発極小